70号　（日刊）

西日本新聞

北九州

北九州本社 093(482)2601

2017年

2月3日

（金曜日）

不妊相談（産婦人科）
医療法人 蔵本ウイメンズクリニック
福岡市博多区博多駅東1丁目1－19（JR博多駅筑紫口より徒歩4分）☎（092）482・5558
ホームページ http://www.kuramoto.or.jp
ISO 9001:2008 認証取得

きょう	朝 6時~	昼 12時~	夜 18時~	あす
	降水確率 最高/最低気温・風向			
福岡	☀	☀	☆	☁☂
	0	0	0	60
	13	3	↓	14 5
北九州	☀	☀	☆	☁☂
	0	0	0	60
	12	1	↗	13 5
筑豊	☀	☀	☆	☁☂
	0	0	0	60
	12	-1	→	13 3
筑後	☀	☀	☆	☁☂
	0	0	0	60
	13	-1	↗	13 3
佐賀北	☀	☀	☆	☁☂
	0	0	0	60
	12	-2	↘	13 2

と思ったんです」と松岡勇樹社長(54)は言う。

勤務は月曜から木曜の午前8時から午後7時まで。週40時間の労働時間は週休3日導入前と変わらず、給料も同じた。以前は1日2～3時間残業しており、実質的な労働時間は5分の4に減った。会議

㊤松岡勇樹社長（左）のアドバイスを受ける坪田唯さん。休日には積極的にセミナーなどに参加している＝大分県国東市

㊦社内で打ち合わせをする籠田淳子さん（右端）と女性社員。壁には職場と自宅を結ぶテレワークのモニターも設置されている＝北九州市

家庭との両立 付加価値に

ゼムケンサービス（北九州市）

住宅や商業施設などの設計・施工を手掛けるゼムケンサービス（北九州市）は、ワークシェアリングや自宅で働けるテレワークなどの導入で、仕事と家庭が両立できる環境づくりを進める一方、女性の感性を生かした提案で業績を伸ばしている。

代表取締役の籠田淳子さん(51)が女性の積極採用に踏み出したのは約10年前の社員募集がきっかけ。応募者のうち1級建築士などの資格を持つ女性が2人いたが、子育て中で短時間勤務を希望した。

「『午後3時に退社』とか、そんなわがままが社会的に許されるのか」とも思ったが、自身も子育てに追われており「2人を理解できるのは私しかいない」と採用を決断。一つの仕事を分担させることで家庭と両立できるよう工夫した。

現在、社員7人のうち女性は5人。柔軟な働き方を実現しようとすれば、人件費負担などは重くなる。このため、女性の積極採用を強みに変えて付加価値を高めようと、家事がしやすい動線や子育てに適した環境づくりなど、女性の視点を生かした提案を行った。結果的に利益が拡大。会社の負担で積極的に研修に送り出すなど、社員の能力を高める取り組みも続ける。

「男性でも女性でも子育てや親の介護に携わった経験は、図面を引く線に表れ、ひいては建築の向上につながる」。これからも仕事と生活の調和がとれた職場づくりを進めるつもりだ。

2017年版 九州経済白書【1面参照】